

学校だより 9月号

平成 29 年 8 月 29 日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

【学校教育目標】夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

「心を育てることは、人生をより良く生きることにつながる」
～甲子園や講話から感じたこと～

校長 渡辺 勝徳

39日間の夏休みが終わりました。今年は8月に入ってから東京では連続21日間、雨が降り、1977年以来の記録的な長雨となりました。まるで梅雨が戻ったようで、夏休みにレジャーを計画していた方や農家の方にとっては残念な夏休みだったのではないのでしょうか？

そんな8月ではありましたが、下旬に埼玉県民にとってはうれしいニュースがありました。花咲徳栄高校が第99回全国高等学校野球選手権大会において、優勝しました。今年で99回を迎えた大会でしたが、埼玉県は今まで2度の準優勝はあるものの、優勝は今回が初めてのことです。それだけに嬉しかった県民は多かったと思います。また、私も含めて、元高校球児の皆さんも感慨はひとしおだったのではないのでしょうか？それにしても、あの超満員の甲子園で、しかもテレビ中継で日本中の人々が見守る中、素晴らしいプレーができた選手たちはすごいと思います。どんなスポーツもそうでしょうが、野球もメンタルなスポーツです。「流れ」というものがあり、いい流れに乗るとトントンと得点できたり、悪い流れになると、思わぬエラーやヒットが続いたりして大量に失点したり、逆転されたりします。この「悪い流れ」を止めるためには気持ちの切り替えが大事になります。つまり、今起きた失敗にくよくよしたり、あれがなければといつまでも後ろを振り返ったりするのではなく、「エラーも一生懸命にやっての結果だ。ランナーが出たのなら、次のバッターでゲッツーをとればいい。そのためには低めの球を打たせて、内野ゴロをとろう！」と気持ちを切り替えることが大事です。こうした気持ちの切り替えや積極思考は普段から常に心がけていないと、いざというときにはできないものです。きっと、花咲徳栄高校の皆さんは、技や体はもちろんのこと、心を相当鍛えていたんだなと思いました。

22日（火）に鴻巣市教職員全員研修会がありました。そこで、武藤教育長から「考え方」という題の講話をお聞きしました。稲盛和夫氏の著書に基づいた話をされていました。その中で、私が特に印象深かった話が「人生の方程式＝能力×熱意×考え方」という話でした。『能力』は生まれつき持っているもので点数にすれば、0点から100点まである。『熱意』も心の持ちようであり誰にでも持てるもので0点から100点まである。しかし、『考え方』は思想や哲学、理念、人生観、人間としての生きる姿勢・・・などで、これはマイナスのものもあれば、プラスのものもある。だから、-100点から+100点まである。振れ幅が大きい。いかに能力や熱意があろうとも考え方がマイナスだったら、能力や熱意があればあるほど、大きくマイナスになってしまう」という主旨の話です。なるほどと思いました。「考え方」は生きていくうえで大きなポイントなんだなと。だから、体験を通して心をきたえるとか、道德の勉強のような座学で心の在り方を学ぶというのは子どもたちの人生にとっては重要なのだなと改めて感じました。

考え方は上記の野球のように実際の体験を通して痛い目に遭ったり、素晴らしい結果が出たりして学んだことから形成されていくことが多いと思います。また、本を読んだり、講演を聞いたり、テレビ番組から学んだりすることも多いです。そして、学校では学校生活や行事、部活動、道德の授業などを通して学んだことから形成されていくことが多いです。

考え方は心から生まれてくると 생각합니다。2学期は多くの行事があります。それらを通して、子どもたちの心を育てていきたいと思っています。

第1回資源回収収益金 ご協力ありがとうございました。

新聞、雑誌、段ボール	45,446円
アルミ缶、空き缶	9,990円

